

第107回愛媛病理研究会



(平成27年1月24日 於医学部組織実習室)

担当:愛媛大学附属病院 病理診断科

- | | | |
|------------|---------|------|
| 1. リンパ節病変 | 愛大病院病理部 | 北澤理子 |
| 2. 右上腕軟部腫瘍 | 愛大病院病理部 | 水野洋輔 |
| 3. 皮膚腫瘍 | 県立中央病院 | 前田智治 |
| 4. 乳癌 | 松山赤十字病院 | 飛田 陽 |

～小休憩～

特別講演

東京慈恵会医科大学病理学講座 特任教授

清川貴子先生

「子宮頸部腺系病変」

～コーヒーブレイク～

- | | | |
|---------------|----------|------|
| 5. 後頭部皮下腫瘍 | 松山市民病院 | 大拙祐治 |
| 6. 卵巣病変 | 愛媛大学分子病理 | 北澤荘平 |
| 7. 腹膜漿液腺癌 | 四国がんセンター | 寺本典弘 |
| 8. 子宮体癌郭清リンパ節 | 市立宇和島病院 | 中西 護 |
| 9. 皮下腫瘍 | 市立宇和島病院 | 松影昭一 |



第 107 回愛媛病理研究会 平成 27 年 1 月 24 日
(愛媛大学医学部附属病院 病理診断科)

提出施設：

愛媛大学病理診断科/分子病理学

提出者：北澤理子、水野洋輔、北澤荘平

病理番号 150124-北澤 R

症例：30 代後半、女性

臨床診断 肺嚢胞性病変

病歴：

3 年前血痰あり大学病院にて精査。胸部 CT にて肺内多発性微小嚢胞を認め、気管支鏡検査施行。BAL、TBLB にて有意な所見は認められず、経過観察されていた。2014 年 9 月左鎖径リンパ節腫大あり、生検が行われた。

問題点

組織診断 (配付標本はリンパ節です)

提出年月日 平成 27 年 1 月 24 日
(愛媛大学医学部附属病院 病理診断科)

提出施設 愛媛大学病理診断科

提出者 水野洋輔、北澤理子

病理番号 150124-水野

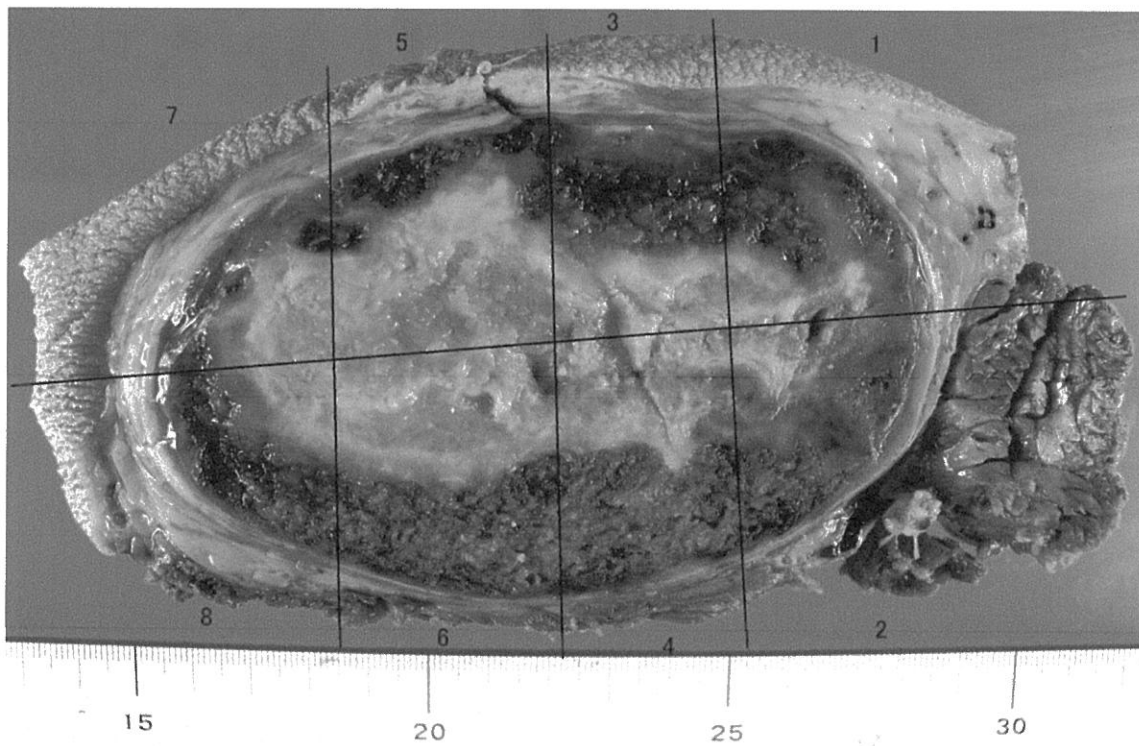
症例 60 歳代、男性

臨床診断 右上腕軟部腫瘍

臓器 軟部組織

病歴

手術半年前から上腕に軟部腫瘍を自覚。手術 1 ヶ月前より急激に大きくなり、画像で未分化多型肉腫(MFH)など悪性腫瘍を疑われ、手術される。出血を伴った 15cm 大の腫瘍で、お配りするスライドは写真の 3 番に相当する部位です。



問題点

組織診断

愛媛病理研究会第 107 回(184 回)

出年月日 2015 年 1 月 24 日

提出施設 県立中央病院

提出者 前田、木藤、杉田、竹治、二宮

病理番号 20150124 前田

年齢、性 50 歳代前半 M

臨床診断 皮膚腫瘍

臓器 皮膚

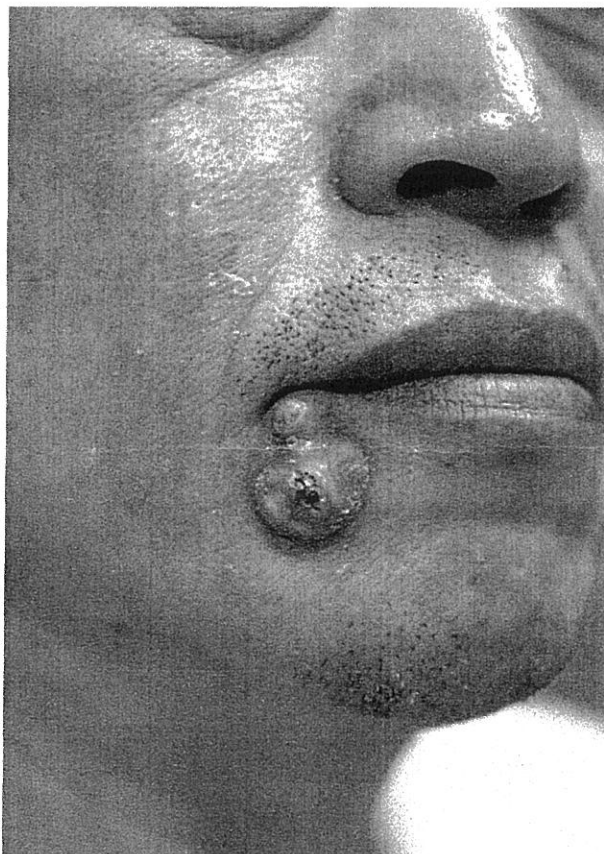
病歴

8 月中旬 右下口唇下部に数 mm の小結節出現 急速増大

1 週間後 近医で切除された。(病理診断は悪性)

9 月中旬 同部位周囲の 2 か所で再燃

10 月中旬 当院、切除目的で来院。配布材料は手術標本の最大剖面
SqCC か Keratoacanthoma か



愛媛病理研究会

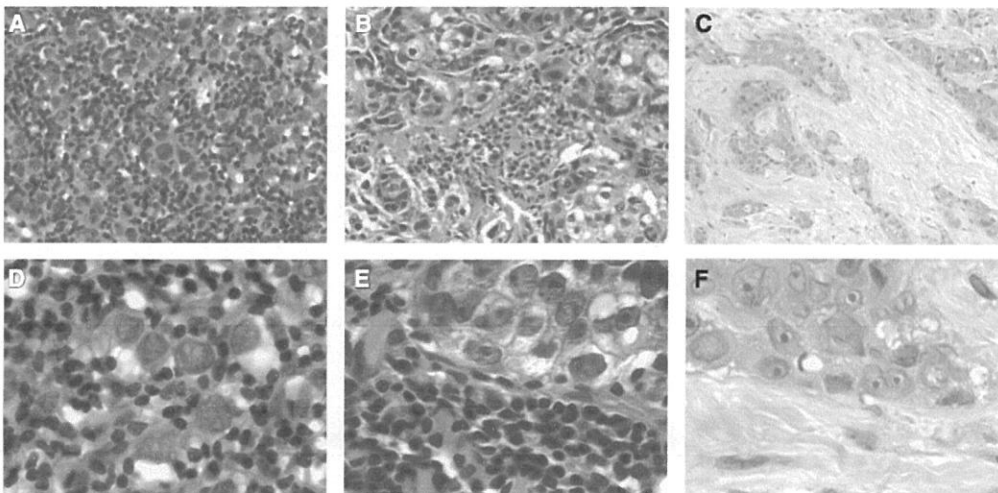
平成27 (2015) 年 1月 24日
(@愛媛大学)

提出施設：松山赤十字病院
病理番号：2015-1-24 飛田
臨床診断：乳癌

提出者：飛田 陽、大城 由美
症例：50歳代、女性
臓器：右乳腺

病歴：右乳腺に径9x7mm大の腫瘍があり、invasive ductal carcinomaと診断した。

問題点：最近話題の腫瘍浸潤リンパ球 (tumor infiltrating lymphocytes: TIL) について
判定してくれと言われたら、どのように報告しますか？



Ref.1

Tumor-Associated
Lymphocytes As
an Independent
Predictor of
Response to
Neoadjuvant
Chemotherapy in
Breast Cancer

Carsten Denkert
et al, J Clin Oncol
28:105-113. 2009

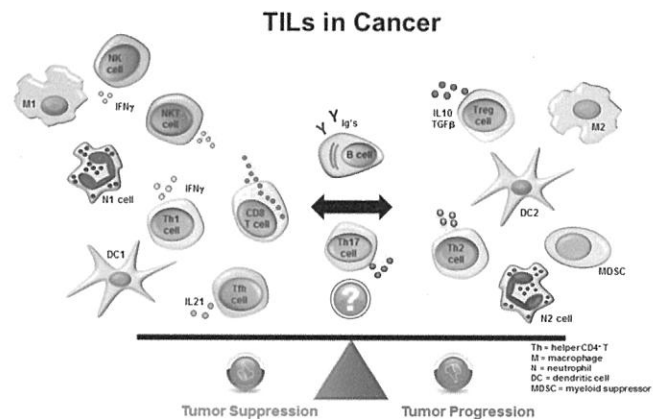
Ref.2

The evaluation of tumor-infiltrating
lymphocytes (TILs) in breast cancer:
recommendations by an International TILs
Working Group 2014

R. Salgado et al, Annals of Oncology

00: 1-13, 2014 doi:10.1093/annonc/mdu450

Annals of Oncology



愛媛病理研究会(第 107 回)

平成 27 年 1 月 24 日

提出施設：松山市民病院

於：愛媛大病院病理部担当

提出医：大拙祐治

病理番号：150124-A,-B 大拙

症例：50 代、M

臨床診断：後頭部皮下腫瘍

臓器：皮膚

病歴：約 1 ヶ月前に後頭部腫瘤を自覚し、受診後生検。径約 5cm の皮下腫瘍の生検材料では、付属器腫瘍と考えられたが、良悪性を含め診断には至らなかった。その後、生検部を含め腫瘍の全摘出が行われた。腫瘍は、境界明瞭で大きさは、45x30mm 大であり、断面は灰白色で、中央部分には生検による修飾が認められる。

標本 A は腫瘤部分主体の、標本 B は生検部修飾を含む部分の切片。

問題点：病理組織診断（良・悪性を含め起源について）

提出年月日 平成 26 年 1 月 24 日
(於愛大病理診断科)

提出施設 愛媛大学分子病理学

提出者：北澤 荘平

病理番号：愛媛病理 150124 北澤 S

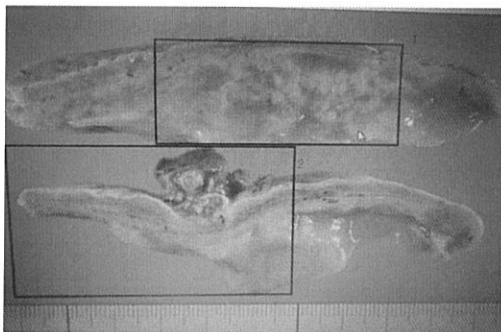
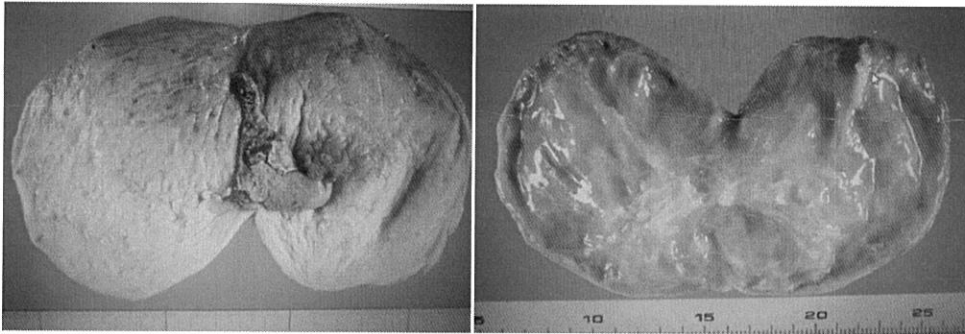
症例：30 歳代前半、女性

病歴：

右卵巢腫瘍に対して右付属器摘出術+大網切除術を施行。

肉眼所見：

大きさ 11x9x3cm 大の表面平滑な右卵巢腫瘍で、断面は浮腫状で多
嚢胞状、ほぼ均一な性状であった。



問題点：組織診断（配布標本は、切り出し図 1 からの標本です）

ES

提出年月日：2015年1月24日

提出施設： 四国がんセンター 提出者：寺本典弘、西村理恵子、高畑浩之
病理番号： 150124-寺本-1 年齢，性： 20代女性
臨床診断： 腹膜漿液腺癌 臓器：腹膜腫瘤

他院へ下腹部の激痛を主訴に来院、画像検査にて腹部腫瘤有り。一部切除後、漿液腺癌として当院紹介。

当院にて右上腹部腹膜、円靭帯、ダグラス窩の腫瘍が切除された。

配布症例は当院での切除標本。

問題点： Gradeなど

ES

2015年1月24日（愛媛大学医学部にて、
愛媛大学附属病院病理診断科担当）

提出施設：市立宇和島病院

提出者：中西 護

病理番号：中西 150124

年齢・性：60歳台、女性

臨床診断：子宮体癌

臓器：腹部大動脈周囲組織（リンパ節廓清）、
#16b1 & #16b2, inter.

臨床経過：2ヶ月前より、水様性帯下があったため、婦人科を受診。内膜細胞診で class V であった。内膜生検では、endometrioid adenocarcinoma with squamous differentiationであった。子宮・付属器摘出術とリンパ節廓清を施行した。子宮主病変は、子宮体部に限局し、carcinosarcoma, stage IB (FIGO 2008)であった。リンパ節転移は認めなかった。腹部大動脈周囲組織（リンパ節廓清）、#16b1 & #16b2, inter に、小型で異型のない細胞の充実性集団（緑の点を付けました）を認めた。この組織を提出した。

問題点：病的所見はありません。日常、あまり目につかない正常組織ですが、実際は頻繁に認められるものかも知れません。過去の愛媛病理研究会では、国立病院機構 東広島医療センターの万代光一先生が、四国がんセンター勤務時に提出されていたように思います。

Reference: Ernest E. Lack: pages 283-288 in AFIP Atlas of Tumor Pathology, Series 4, Fascicle 8. Tumors of the Adrenal Glands and Extraadrenal Paraganglia.

ES150124

2015年1月24日（於、愛媛大学）

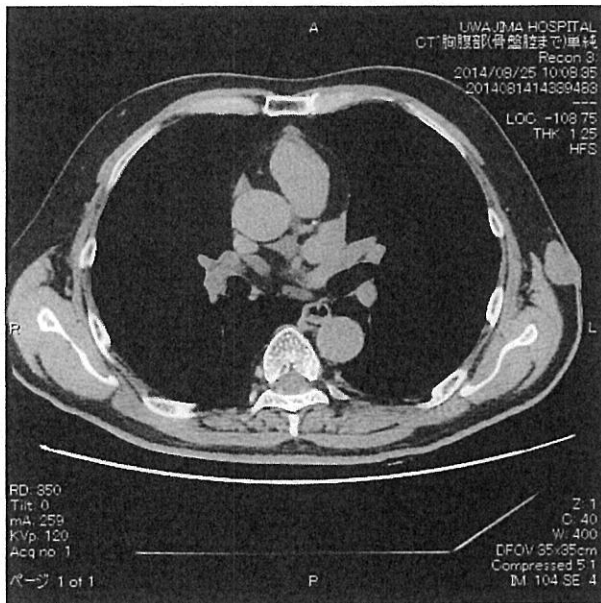
提出施設：市立宇和島病院 提出者：松影 昭一

病理番号：150124 松影 年齢・性：70歳台 男性

臨床診断：皮下腫瘍 臓器：皮膚

病歴（肉眼所見を含む）：

約20年前から左腋窩に約4cm大の皮下腫瘍を自覚していたが放置していた。前立腺癌の治療で当院通院中、皮下腫瘍の増大を指摘され、皮膚科受診。左腋窩部に約4×2cm大の弾性硬の皮下腫瘍を触知。現在まで、化膿、排膿、圧痛等の自覚症状、動作時障害は特になかった。CT画像では、皮下に24mm大の結節影がみられ、粉瘤の疑いにて、腫瘍摘出術が行われた。



問題点：病理診断
